

6月の月一レターです

2023.6.20

＜今年3月にさいたま市の「田島ヶ原サクラソウ自生地」が、第2回「未来に残したい草原の里100選」に選ばれた。天然記念物指定から100年以上、特別天然記念物に指定されてから70年以上の歴史を持つサクラソウ自生地の周辺は、大都市圏の近郊で古くからの環境が残された草原としての価値も大きく、埼玉県内では初めて選ばれた。(紙上情報から)＞

息子が30歳代に入った頃、ガラケーで撮ったこの写真。美しい草原の風景が気に入り、スマホになっても長く「待ち受け」にしていました。

17歳初診の待合室で、「17歳発症。34歳になって作業所に通所できた。」という、回復に向かい喜ぶ家族からの便りの貼紙がありました。「そこまでまだ17年も…」へこむ気持ちも、便りも息子の目にいれたくなくて、そっと貼紙から離れた所に席を移動したものでした。力強く自生し、清らかに咲くサクラソウに癒されながらも、息子があの時の年齢に近づき、焦る気持ちが入り混じる思い出の大切な「田島ヶ原」のピンボケの一枚です。



◆◆◇————— みんなねっと情報 —————◆◆◇

◇◆—【ご案内】倫理委員会シンポジウム開催

「当事者参加型の倫理委員会の意義と可能性 :ゲノム研究を例にとって」

当会理事の夏苺郁子先生が所属されている倫理委員会では、第119回日本精神神経学会学術総会内にてシンポジウムを開催いたします。当会の岡田理事長も家族の立場から当事者参加型の倫理委員会の意義と可能性について発言します。ご関心のある方は、ぜひご参加ください。

日時 : 6月24日(土) 10:45~12:45 (委員会シンポジウム32)

会場 : パシフィコ横浜ノース B会場(1階 G5)

参加費 : 21,000円

*但し、当事者と家族が一緒に参加する場合は1,000円 (当事者は手帳持参、現地窓口で現金のみ)

《内容》 詳細は <https://www.c-linkage.co.jp/jspn119/program.html> をご参照ください。

当事者参加型の倫理委員会の意義と可能性

*当事者・家族の立場から / 井上 恵子(医療過誤原告の会)

*精神障害者家族の立場から / 岡田 久実子(全国精神保健福祉会)

*双極性障害の当事者・家族の視点から / 佐藤 純(ノーチラス会)

精神疾患のゲノム解析結果の患者・家族への還元 / 久島 周(名古屋大学精神科)

ゲノム研究成果をどのようにゲノム医療に活かすか?

*研究者・遺伝カウンセラーの立場から / 堀内 泰江(静岡社会健康医学大学院大学)

〈メインコーディネーター〉・夏苺 郁子 やきつべの径診療所精神科

〈サブコーディネーター〉・尾崎 紀夫 名古屋大学大学院医学系研究科精神疾患病態解明学

◇◆—【ご案内】「患者の声を活かした医薬品開発」シンポジウム開催

日本製薬工業協会(製薬協)では、患者さんの声を取り入れた医薬品開発の推進に取り組んでおり、その活動の一環として患者・市民の方と製薬企業の双方を対象とした「患者の声を活かした医薬品開発」シンポジウムを企画致しました。本シンポジウムでは、最初に患者・市民の皆様を対象とした治験の Patient and Public Involvement(PPI:患者・市民参画)に関してご紹介いたします。続いて患者、規制当局、医療機関、製薬業界の各立場の方々から、患者の声を活かした医薬品開発の必要性和活動事例についてご説明いただきます。また、演者の皆様にご登壇いただき、それぞれの立場からみた患者参画の現状と今後について

てパネルディスカッションを行います。

多くの皆様にご参加いただき、医薬品開発への理解と参画を進めていただく一助となれば幸いです。
詳細は <https://twitter.com/Seiyakukyoku/status/1663832691832406017/photo/1> をご参照ください。

【開催日時】：2023年7月11日(火) 13時00分～16時10分

【実施方法】：現地会場及び Web 配信の両方を用いたハイブリッド開催

※事前申込後、登録されたメールアドレスへ製薬協シンポジウム担当よりご案内と Web 視聴用 URL をお送りします。

※現地会場は日本橋ライフサイエンスビルディング(東京)です。

※ご利用のインターネット環境によっては通信の乱れが生じる可能性があります。予め、ご了承下さい。

【申込方法】：ご参加及びご視聴には事前登録が必要です。以下の URL から事前登録サイトへお入りください。
<https://forms.office.com/r/NFCinPhYS3>

【申込締切】：2023年6月27日(火)まで

【参加費】：無料

<本件に関する問い合わせ先>

日本製薬工業協会 医薬品評価委員会 臨床評価部会 シンポジウム担当 メール: hyouka3@jpma.or.jp

【プログラム】

*開会挨拶／臨床評価部会 部会長 松澤 寛

*なぜ治験について知ってほしいのか ―くすりと治験の紹介―／臨床評価部会 タスクフォースチーム

*医薬品開発への患者・市民参画：課題と展望／東京大学医科学研究所 武藤 香織

～ 休憩 ～

*社会とともに歩む創薬の未来

／キャンサー・ソリューションズ株式会社、一般社団法人 CSR プロジェクト 桜井 なおみ

*「患者の声を活かした医薬品開発」について 規制当局の立場から

／独立行政法人 医薬品医療機器総合機構 手塚 瞬

*患者参画がなぜ必要か？医療機関の立場から／国立がん研究センター中央病院 中村 健一

*薬の価値や評価への患者・市民参画について、産業の立場より

／医薬産業政策研究所 吉田 晃子

～ 休憩 ～

*パネルディスカッション

／武藤 香織、桜井 なおみ、手塚 瞬、中村 健一、吉田 晃子、タスクフォースチーム

【進行】：松澤 寛

*製薬協 患者の声を活かした医薬品開発タスクフォースの取り組み

／臨床評価部会 タスクフォースチーム

【閉会の挨拶】：医薬品評価委員会 委員長 柳澤 学

【主催】：日本製薬工業協会 医薬品評価委員会 臨床評価部会

【会場】日本橋ライフサイエンスビルディング 2 階 201 大会議室 (東京都中央区日本橋本町 2-3-11)

<https://www.nihonbashi-lifescience.jp/building/>

【アクセス】

*電車をご利用の方

・東京メトロ銀座線・半蔵門線「三越前」駅【A6 番出口】より徒歩 3 分

・JR 総武線快速「新日本橋」駅【5 番出口】より徒歩 2 分

・JR 山手線・京浜東北線・中央線快速「神田」駅【南口】より徒歩 11 分

・JR 山手線・京浜東北線・中央線快速「東京」駅【日本橋口】より徒歩 13 分

*お車をご利用の方

・会場には駐車場のご用意がありません。COREDO室町の駐車場又は近隣の駐車場をご利用下さい。

・COREDO室町駐車場のご案内 <https://mitsui-shopping-park.com/urban/muromachi/parking.html>

◇◆—【ご案内】「いろんなきもちだいじょうぶ。ぷらすあるは絵画展&高次脳機能障害って？」開催
2023年の夏も、《さいたま市高次脳機能障害者支援センター＋ぷらすあるは》コラボの絵画展を行います。ぜひ、足を運んでみてください。
【会期】2023年7月24日(月)～7月30日(日)/9時～19時 ※24日(月)16時～、30日(日)は18時迄
【会場】さいたま市立大宮図書館 展示スペース(大宮区役所1階)詳細は <https://onl.sc/bAf5vqi>

●～●～● コンボ情報 ●～●～●

●～◎第90回こんぼ亭月例会◎※オンライン開催 『抑うつでもウェルビーイング』
☆詳細はコンボ HP から https://www.comhbo.net/?page_id=37889
【日時】:2023年7月15日(土)
【お客様】:神庭重信さん(飯田病院臨床研修センター長／日本うつ病センター理事長)